



立命館大学体育会射撃部

OB通信 2002年度 第2号

全関西学生ライフル射撃選手権大会22連覇達成！！



(写真:西日本大会に優勝して)

春季全関西学生ライフル射撃選手権が5月16日～18日、大阪の能勢ライフル射撃場で行われました。当日は風が強く、屋外で行われた50m競技では、いつもの実力を発揮できなかった射手もいましたが、総合団体22連覇を果たすことができました。西日本学生ライフル射撃選手権大会は6月6日～9日、福岡県立総合射撃場で行われました。大会前日は公開練習日で、部員一同フェリーで10時間程かけて福岡入りしました。長距離移動の疲れがでたのか、結果は春関より点数を下げ、課題も残りました。

■ 戦績報告

春季全関西学生ライフル射撃選手権大会 (2002年5月16日～5月18日)

総合団体 優勝 立命館大学 5012点

2位 京都大学 4856点 3位 関西大学 4727点

50m3×20団体 優勝 1635点

坪田夏世 1位 654.7 渡憲哉 2位 643.2

日渡憲貴 6位 612.1

50mP60団体 優勝 1659点

坪田夏世 1位 677.1 渡憲哉 2位 676.3

日渡憲貴 5位 665.6

10mS60団体 優勝 1718点

渡憲哉 3位 675.7 織田健太 4位 675.6

木村千穂 5位 673.5 岩倉明香 6位 672.3

瀧涼子 8位 668.3

10mS40W団体 2位 1132点

坪田夏世 1位 488.3 木村千穂 2位 488.0

西日本学生ライフル射撃選手権大会

(2002年6月6日～6月9日)

総合団体 優勝 立命館大学5011点

2位名古屋大学 4835点 3位京都大学 4832点

50m3×20団体 優勝 1651点

渡憲哉 2位 644.0 坪田夏世 3位 641.2

木村千穂 5位 636.0 岩倉明香 8位 615.4

50mP60団体 3位 1663点

渡憲哉 3位 676.5 坪田夏世 2位 677.8

岩倉明香 4位 673.7 日渡憲貴 7位 668.9

10mS60団体 3位 1697点

織田健太 5位 679.0 坪田夏世 6位 677.9

木村千穂 8位 673.3

10mS40W団体 2位 1142点

坪田夏世 3位 483.7 木村千穂 5位 480.4

岩倉明香 6位 478.1

個人戦績は入賞者のみ掲載。点数はファイナル(後述)実施後のものです。

■ お知らせ

1. 競技名が下記の通り変更されました。

旧競技名 新競技名

エアライフル

ARS60 10mS60

(10mエアライフル立射60発競技)

ARLS40 10mS40W

(10mエアライフル女子立射40発競技)

AR3P60 10m3×20

(10mエアライフル3姿勢60発競技)

ARP60 10mP60

(10mエアライフル伏射60発競技)

スモールボアフリーライフル

SFR3P60 50m3×20

(50mライフル3姿勢60発競技)

SFRP60 50mP60

(50mライフル伏射60発競技)

2. 夏の練習予定

9月4日から能勢で開催される秋季全関西学生ライフル射撃選手権に向け、八瀬射撃場で計5日間の練習と、能勢ライフル射撃場で4日間の合宿を行います。西日本大会の反省をふまえ、部全体のレベルアップを目指し、邁進していきます。練習日程は次のとおりです。

8月19・20・23・24・25日

八瀬射撃場にて全体練習

8月28・29・30・31日

能勢射撃場にて合宿

3. 新入部員紹介

今年は男女合わせて9名が新たに入部しました。OB・OGの皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

国際関係学部1回生 井上ゆかり

文学部1回生 川西美咲 松本順 松本真由美

文学部3回生 菅詩織 法学部1回生 辰口智樹

産業社会学部1回生 織田健太

経営学部1回生 箭内宏文

政策科学部1回生 山崎智仁

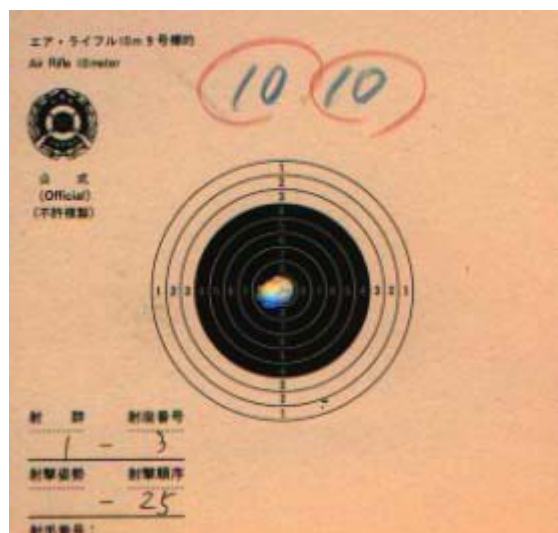
TOPICS



AR ファインベルクバウ M602



SB アンシュッツ Mod.2012



AR 標的 (何れも現役部員ホームページより)

近年使用されているライフル銃の一例を掲載してみました。一言で「ライフル射撃」「射撃部」と言っても、各時代のOB・OGの皆様にとっては、使用した銃や用具・競技種目・ルール・試合会場・クラブの運営や雰囲気など実は大きく違っているのではないのでしょうか？そこで、今号より「トピックス」として用語や射撃界やクラブの現状を分かり易くお伝えしていきたいと思えます。今回は、OB通信作成にあたってご質問の多かったファイナルについて説明させていただきます。

用語解説

FINAL (ファイナル)とは？

ファイナルとは、試合の全回転終了後、各競技ごとに、得点(ファイナルではこれを素点と呼びます)の個人上位8名で行われる決勝戦のことで、近年の公式試合はほとんどがこのファイナル形式を導入しています。ファイナルでは8名が1発ずつ(立射及び3姿勢競技は立射、伏射競技は伏射で)同時に撃ち、合計10発の得点を素点に足したものが最終的な記録となります。また通常の試合とは違い、得点は機械によって小数点第1位まで算出されます。例えば10点の0.5mmの白点をぎりぎりかすっているものは10.0、完全にど真ん中を撃ち抜いているものは10.9といったように、同じ10点でもその深さによって0.9ポイントもの差がついてしまいます。射手同士の得点差は射手が1発撃つごとに公表され、その推移がすぐにわかるようになっていきます。このファイナル形式の導入によって、素点で1位だった射手がファイナルで他の射手に抜かれ最終順位が8位になってしまったり、また逆に素点で8位だったとしてもさらに順位をあげるという光景がよく見られるようになりました。 以上

<現役部員のホームページ>

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Acropolis/7869/index.html>

<OB会のホームページ>(工事中)

<http://www.geocities.co.jp/Collegelife-Lounge/9501>

<OB会のメーリングリスト(Eグループ)>

<http://www.egroups.co.jp/group/rits-rifleshooting>

編集 坪田夏世 産社3回生 瀧 涼子 政策3回生
丸山 健 OB会事務局

編集後記 紙面を一新したOB通信いかがでしたでしょうか。本通信発行にあたり、坪田さん・瀧さん両現役部員が頑張ってくれました。個人戦績はホームページに掲載することに変更しました。ノワールドカップを戦い終えたトルシエ監督いわく「挑戦の旅は終わり、未来へのエネルギーが残った」。私たちOB・OGの現役部員としての挑戦は終わりましたが、その足跡は現在の射撃部にエネルギーとして残っているのです。今後とも、一層のOB会・現役部員へのご支援をお願い致します。なお、本通信の発送にあたり、山本泰助先輩より郵送費のご寄付をいただきましたことをご報告するとともに、紙面を借りて御礼申し上げます。 OB会事務局 丸山